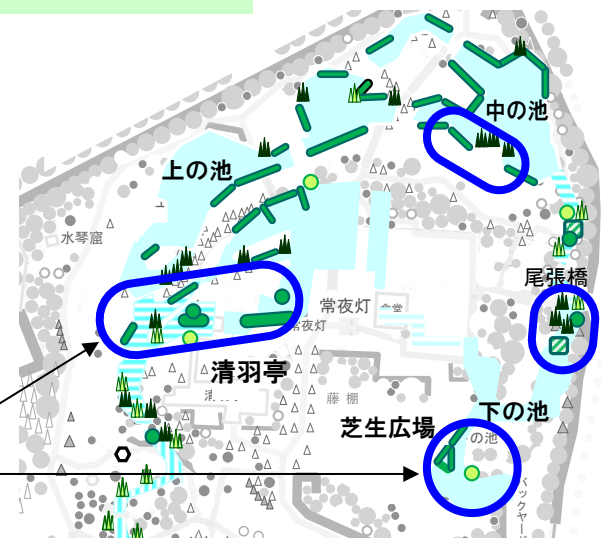


池

【改善】白鳥庭園 2017-21

2017	2018	2019	2020	2021
清羽亭周辺				
ヤゴに配慮した池清掃	同左	同左	同左	同左
下の池				
ヤゴに配慮した池清掃	同左	同左	同左	同左
ヨシ帯づくり(プランター)	観察スポット整備			水流阻害の除去 (フトイ、ハナショウブ一部刈り取り)
中の池				
コイ除け柵の設置	コイ除け高さ調整			コイ除け上段部補修 コイ除け内側にアサザを補植



◇ヤゴに配慮した池の清掃方法への改善

池底の清掃で出た藻類をすぐに処分せず、水際に1~2日放置し、ヤゴが池に戻れるようにした(2017年度~)。

◇コイ除け柵の設置(中の池)

2017、中の池の南岸にコイ除けの竹しがらみを設置。

→ トンボの産卵は確認されたが、ヤゴの増加は確認できなかった。

* ただし、オタマジャクシは鈴なりだった。

→ 池の増水時にコイの侵入(柵越え)が見られたので、高さ調整。

* しかし、下の池や清羽亭西などに比べると水生植物の生育が少ないため、トンボ発生源としての機能の低さは否めない。

2021、コイ除け柵の内側に、アサザを補植(産卵環境改善)。

◇ヨシ帯づくり(下の池北東部)

下の池北東部(尾張橋南)は、ヤゴの生育場所。

2017、ヨシを植えたプランター設置 → ヤゴの生息環境改善。

◇観察スポットづくり(下の池北東部)

2018、ヤゴの生息場所やトンボの行動を観察できるように、水際まで近づけるよう整備。

- ・ 樹木の剪定(下枝、枯枝、支障枝)
- ・ 園路整備(水際への小径、飛び石設置、土留め)
- ・ 流入部の淀み解消(流れの支障となる抽水植物・浮葉植物の整理)

2021、流入部の淀み解消(フトイ、ハナショウブの一部刈り取り)。



- ▲ ヨシ、コガマ、フトイ、マコモなど
(葉の細長い 抽水植物)
- ▲ セキショウ、ハナショウブ、スギナ
(葉の細長い 湿生・抽水植物)
- アサザ、スイレン、ハス、コウホネなど
(葉の丸っこい 浮葉・抽水植物)
- ハンゲショウ
(葉の丸っこい 湿生植物)

